

Answers

Reading

- 1 イ 2 ウ 3 ア 4 イ 5 ウ 6 イ 7 ウ Word Quiz injury

Comments

Reading

- 「小澤さんがラグビーに興味を持つようになったのは、()」 ア「彼がピアノのレッスンを受け始める前でした」、イ「彼がピアノを真剣に練習し始めたころでした」、ウ「彼がピアノを弾くことができなくなった後でした」 第1段落第4文 (He started ...) ~第5文に「彼はプロのピアノ教師のレッスンを受け始めました。小澤さんはそのころ、ラグビーもし始めました」とあるので、イが正解。
- 「小澤さんの母親が彼にラグビーをしないように頼んだとき、小澤さんは()」 ア「彼女の言うとおりにしました」、イ「彼女に反論しました」、ウ「彼女の言うことを聞きませんでした」 第1段落第6文 (However, ...) ~7文に「しかし、ピアニストにとって指はとても大切なので、彼の母親は彼にそのスポーツをしないように頼みました。それでも、彼は内緒でラグビーをし続けました」とあるので、ウが正解。
- 「小澤さんが指を2本折ったとき、()」 ア「彼のピアノの先生は指揮について彼に話しました」、イ「彼は彼のピアノの先生に指揮を教えるよう頼みました」、ウ「彼の母親は彼に指揮者になるように言いました」 第2段落第4文 (So he ...) に「それで先生は『指揮者』と呼ばれる仕事があるよ」という提案をしました」とあるので、アが正解。
- 「小澤さんがレオニード・クロイツァーを見た時、そのドイツ人は()」 ア「オーケストラとピアニストの両方を指揮していました」、イ「オーケストラを指揮しながらピアノを弾いていました」、ウ「合唱隊の指揮とピアノの演奏を同時にしていました」 第2段落第9文 (At this ...) に「この演奏で、クロイツァーはピアノを弾きながらオーケストラを指揮しました」とあるので、イが正解。
- 「小澤さんがクロイツァーの演奏を見た後、()」 ア「クロイツァーは彼に、音楽を学びにヨーロッパへ来るよう助言しました」、イ「彼はクロイツァーに、ヨーロッパへ連れていってくれるよう頼みました」、ウ「彼は本気で指揮者になりたいと思いました」 第2段落第10文 (This impressed ...) ~最終文に「これに小澤さんはとても感動したので、指揮者になろうと決めました。それから彼は勤勉に指揮の勉強と練習をし始めました」とあるので、ウが正解。
- 「小澤さんがフランスのコンクールで優勝したのは、()」 ア「ヨーロッパで何年も指揮を学んだ後でした」、イ「ヨーロッパに着いてすぐ後でした」、ウ「日本で指揮を学び始めてすぐのことでした」 第3段落第2文 (Soon after ...) に「ヨーロッパに着いてすぐ、彼はフランスで国際指揮者コンクールに出場し、優勝しました」とあるので、イが正解。
- 「小澤さんの若いころの経験は、()」 ということを教えてください」 ア「一度目標を決めたら、それに集中すべきだ」、イ「たとえ自分の夢がかないそうになくてもそれをあきらめてはいけない」、ウ「1つの目標が不可能になったとき、私たちは新しい目標を立て、それを達成するために努力することができる」 最終段落第1文 (Seiji Ozawa's life ...) には「小澤征爾さんの人生は、大きな問題でも克服することができるということを教えてください」とある。第2文 (If you miss ...) ~最終文の「もしあなたが1つのチャンスを逃したら、別の何かに挑戦して自分のために新しい目標を立ててください。目標を変更したら、その新しい目標に到達するために、一生懸命努力して最善を尽くしてください」という記述から、ウが正解とわかる。

Word Quiz 「人の体や動物の体の一部に対する損傷」を表す名詞は、injury 「けが」。

Translation

- Seiji Ozawa was born in 1935. He first became interested in the piano at the age of ten. When he entered junior high school, he became very serious about playing the piano. He started taking lessons from a professional piano teacher. Ozawa also started to play rugby around that time. However, his mother asked him not to play that sport because fingers are very important for a pianist. Still, he continued to play rugby secretly. And then, just before he became a third-year student in junior high school, he broke both of his forefingers in a rugby match. After he got injured, he worried about meeting his piano teacher. He felt bad because he was such a serious piano teacher. When he went to the teacher's house to explain the injury, the teacher saw Ozawa's hands and knew he would be unable to play the piano anymore. So he suggested, "There is a job called 'conductor'." Before that, Ozawa didn't know what exactly a conductor did. However, he wanted to continue studying music, so he joined a chorus group led by a conductor. Soon he realized that music—its harmony, its accents, and its rhythm—could be influenced by the conductor. Not long after that, Ozawa went to see a performance by a German pianist, Leonid Kreutzer. At this performance, Kreutzer conducted the orchestra while playing the piano. This impressed Ozawa so much that he decided to try to become a conductor. He then began diligently to study and practice conducting. At the age of 24, Ozawa went to Europe for further study in order to be a conductor. Soon after he arrived in Europe, he entered the International Competition of Orchestra Conductors in France and won first prize. This was a great achievement and a great beginning for his career as a conductor. Seiji Ozawa's life shows that big problems can be overcome. If you miss one opportunity, then try something else and set new goals for yourself. If you change your goal, work hard and try your best to reach the new goal.

- at the age of ... 「…歳のときに」
- start -ing = start to do 「…し始める」
- take a lesson 「レッスンを受ける」
- (ask + O + to do) 「Oに…してくれるよう頼む」
- not to do 不定詞の否定形
- still 「それでも」
- continue to do = continue -ing 「…し続ける」
- both of ... 「…の両方も」
- get injured 「けがをする」
- worry about -ing 「…することについて心配する」
- to explain 副詞的用法(目的)
- be unable to do 「…することができない」
- (否定語(unable) + anymore) 「もはや…ない」
- called 'conductor' a job を修飾する過去分詞句
- what ... did knowの目的語となる疑問詞節
- led ... conductor a chorus group を修飾する過去分詞句 (ledはleadの過去分詞)
- realize that ... 「…ということがよくわかる」
- go to do 「…しに行く」
- while (he was) playing the piano
- so ... that ~ 「とても…なので」
- decide to do 「…することに決める」
- try to do 「…しようとする」
- begin to do 「…し始める」
- in order to do 「…するために」
- win first prize 「優勝する」
- try one's best 「最善を尽くす」
- to reach 副詞的用法(目的)

Grammar

- 1) 1) I don't know the time when the meeting will start.
2) This is the place where we always practice baseball.
3) What is the reason why Dean didn't take part in the race?
- 2) 1) where 2) which[that] 3) why 4) when 5) how 6) why
- 3) 1) We visited Nagasaki, where we stayed for two days.
2) I got up at seven (o'clock), when it was fine[sunny].

Writing

- 1) That is how I got the ticket. 2) That is how they built[constructed] the bridge.

An Unnecessary Sentence

②

Listening

13, 40

Dictation 1) at the age 2) got injured 3) worried about, able 4) suggested 5) decided to do his best
6) won first prize

Comments

Grammar

関係副詞

- 1 関係副詞の働き
 - 1) 「私はその時間を知らない。会議はその時間に始まる」→「私は会議が始まる時間を知らない」the time は〈時〉を表すので、後ろの文の at the time を関係副詞 **when** にして the meeting ... の前に出し、前の文の the time の後に置く。
 - 2) 「これはその場所だ。私たちはいつもこの場所で野球の練習をする」→「これは私たちがいつも野球の練習をする場所だ」the place は〈場所〉を表すので、後ろの文の in this place を関係副詞 **where** にして we always ... の前に出し、前の文の the place の後に置く。
 - 3) 「その理由は何ですか？ ディーンはその理由で競走に参加しなかった」→「ディーンが競走に参加しなかった理由は何ですか」the reason は〈理由〉を表すので、後ろの文の for that reason を関係副詞 **why** にして Dean didn't ... の前に出し、前の文の the reason の後に置く。
- 2 関係副詞と関係代名詞の使い分け

関係代名詞、関係副詞のどちらを用いるかは、先行詞を関係詞節に入れて考える。主語や目的語の働きをする場合は関係代名詞、副詞の働きをする場合は関係副詞を用いる。

 - 1) 先行詞 the city を関係詞節に入れると、the next Olympic Games will be held **in the city** と副詞の働きをする。the city は〈場所〉を表すので、関係副詞 **where** が適切。
 - 2) 先行詞 the town を関係詞節に入れると、I know the town well と目的語の働きをするので、関係代名詞 **which** または **that** が適切。
 - 3) 先行詞 the reason を関係詞節に入れると、you were late **for the reason** と副詞の働きをする。the reason は〈理由〉を表すので、関係副詞 **why** が適切。
 - 4) 先行詞 the year を関係詞節に入れると、World War II ended **in the year** と副詞の働きをする。the year は〈時〉を表すので、関係副詞 **when** が適切。
 - 5) 「このようにして…」は、「これが…する方法だ」と表す。「…する方法」は〈関係副詞 how + 節〉または〈the way + 節〉で表すが、ここでは空所が1つなので、**how** を入れる。他の関係副詞と違い、how は the way と一緒に使わないことに注意。
 - 6) 「そういうわけで…」は、「それが…する理由だ」と表す。「…する理由」は〈先行詞 the reason + 関係副詞 why + 節〉で表すが、ここでは空所が1つなので、先行詞を省略して **why** だけを用いる。

3 関係副詞の継続用法

- 1) まず We visited Nagasaki と表し、〈場所〉を表す Nagasaki の後に関係副詞の継続用法〈**where**〉を続けて「そこに」を表し、後半の文を続ける。
- 2) まず I got up at seven (o'clock) と表し、〈時〉を表す seven (o'clock) の後に関係副詞の継続用法〈**when**〉を続けて「そのとき」を表し、後半の文を続ける。

Writing

That is how ... の文

「そのようにして…」は **That is how ...** と表す。

An Unnecessary Sentence

文と文のつながりに注意して読もう。第1文で、クラシック音楽は人だけでなく、多くの物にとってよい効果があると述べており、直後にはその1つ目の例として、味噌についての文が続く。その後には、2つ目の例である木材についての記述が続く。よって、クラシック音楽と人について述べている②の文が取り除かれると、パラグラフのまとまりがよくなる。

日本語訳

クラシック音楽には人だけでなく、大豆、家や楽器のための木材のような多くの物にとってもよい効果があります。味噌をつくる人の中には、大豆を発酵させる間にクラシック音楽をかける人たちもいます。彼らはクラシック音楽が味噌をまるやかな味にと言います。クラシック音楽は人にとってもよいです。木材を乾燥させる間にクラシック音楽をかける人たちもいます。その後、家を建てたり、ギターのような楽器をつくったりするために木材は使われます。彼らはクラシック音楽が木材をよい状態に保つと言います。このようにして、クラシック音楽は人々にとってとても役に立つのです。

Listening

時刻表

時間に関する情報をしっかりと聞き取ろう。

Script

Anna: Finally, we're here at the National Art Museum, John. I think we should decide which bus to take back to Osaka Station.
John: OK, Anna. **Now it's 10:40 am.** I think one hour would be fine for looking around the museum. How about taking the bus leaving at 11:40?
Anna: Well, this is a big museum, and I want to see many paintings here. I don't think one hour will be enough. How about **two hours to look around?**
John: Alright. So, there is a bus leaving at 12:40 ... Oh, I'll probably be hungry by then. Are there any restaurants around here?
Anna: Yes, the museum has a café. They have a lunch menu, such as grilled steak with barbecue sauce, hot sandwiches with chicken and cheese ...
John: Stop! You're making me hungry. OK, let's have lunch there. **We'll take one hour for lunch, and then we'll catch the bus!**

日本語訳

Anna: とうとう、国立美術館に着いたわね、ジョン。大阪駅に帰るのにどのバスに乗るかを決めておくべきだと思うの。
John: わかったよ、アナ。今は午前10時40分だね。美術館を見てまわるのに、1時間あればいいと思うよ。11時40分に出発するバスに乗るのはどうかな？
Anna: ええと、これは大きな美術館だし、私はここでたくさん絵を見たいわ。1時間で十分だとは思わないわ。見てまわるのに、2時間ではどう？
John: わかった。12時40分に出発するバスがあるね…。ああ、僕は多分それまでにお腹がすいちゃうよ。この辺りにレストランはある？
Anna: ええ、美術館にカフェがあるわ。バーベキューソース付きのグリル・ステーキやチキンとチーズのホットサンドイッチのようなランチ・メニューがあるわよ…。
John: やめて！ お腹がすいちゃうよ。わかった、ランチをそこで食べよう。ランチに1時間とって、それからバスに乗ろう！